**第3学年1組　算数科学習指導案**

1　題材名　2けたの数をかける計算

2　本時の学習指導（4/11時）

（1）目標

　〇2位数×2位数の計算原理や方法,筆算の仕方を理解することができる。

（数量や図形に関する知識・理解）

（2）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| 問題場面  １こ31円のおかしを23こ買います。代金は何円でしょう。  1　本時の問題場面について知り、課題をつかむ。  　C１　１こ31円のおかしが23  　　　　こあるから、31×23だ。  　C2　31×20が620だったからそれよりは高いと思う。  課題  2　各自、計算の仕方を考える。  　C1　31×23は出来ないが、  31×20と31×3は出来るの  でそれらの答えを足せばいい。  3　計算の仕方を発表する。  　C1　23を20と3に分けて、31×20と31×3の答えを足して求める。  4　筆算の仕方を知る。  5　筆算の仕方を活用して、問題を  　解く。  6　本時の学習についてのまとめを  する。 | 〇教科書のテープと数直線の図を示すことで、「1つ分の大きさ」「いくつ分」にあたる数をとらえられるようにする。  〇答えがおよそいくらになるかについても問い、予想をさせることで、その予想が正答とどれくらい異なるかを認識させ、筆算の必要性を理解できるようにする。  31×23の計算のしかたを考えよう  〇前回内容の「31×20の計算のしかたを考えましょう」を振り返ることで、「23を20と3に分ける」という発想が持てるようにする。  〇計算の仕方が分からなかった児童にも分かるように発表者を促す。  〇手順を丁寧に確認しながら説明する。  評　2位数×2位数の計算原理や方法,筆算の仕方を理解している。  （数量や図形に関する知識・理解）  〇つまずいている児童がいないか机間指導で確認する。  〇つまずいている児童がいた場合は板書に示した手順を児童とともに確認しながら計算する。  〇「いくつ分」にあたる数を分けると今までの考えが使えることをおさえる。 | 8′  10′  5′  10′  7′  5′ |

板書計画